

仙台市青葉区で犬猫専門の動物病院を開業したメル犬猫クリニクの大鋸谷（おがや）光院長と、ヒューレックスグループの事業承継推進機構（通称AOBA、本社仙台市、松橋隆広代表取締役社長）の佐藤文昭取締役が対談。新規開業ではなく、後継者不在で継続が難しい既存の動物病院を事業承継する形で開業を決断した経緯などについて話を聞いた。

佐藤 新たにスタートされたクリニクの概要をお聞かせください。

大鋸谷 北仙台にある丸山動物病院を承継し、2023年12月1日にメル犬猫クリニクとして開業しました。犬猫を対象に、地域に根差した治療を行う病院を目指しています。また私は日本獣医学会の皮膚科認定医という資格を取得していますので、皮膚科に対しては専門性を持った治療で差別化できると思っています。認定医になるには学会発表や論文発表など必要のため、東北には資格取得者が少なく、宮城県内では現時点で私だけです。専門性を高めることで、皮膚病で困っている患者さんの来院が増え、

患者数の増加につながることを期待しています。

佐藤 丸山動物病院を引き継がれた経緯等については。

大鋸谷 出身地の仙台で開業を考えていましたが、近年は動物病院が飽和状態になっていることもあり、開業する勇気が持てませんでした。しかし事業承継であれば患者さんを引き継いでやっていけるのではないかと、知り合いの獣医師に相談したところ、丸山先生が跡継ぎを探しているところを紹介いただきました。実際に丸山先生とお話しをして、患者さんに対する思いに感銘を受けました。急に廃業し治療の引き継ぎもなかったら困るのは患者さんです。「病院を続けていくことが患

者さんへの責任を果たすことだ」というお考えにも賛同し、病院の承継を

佐藤 丸山先生と同じ志で地域貢献するということですね。今回ご協力させていただいた私ども「AOBA」を含め、ヒューレックスグループは人材紹介を生業として今年で21年目になります。東北を含め全国の金融機関と提携し、お客様のニーズにお応え

しています。ここ最近の後継者不足も大きな課題となっております。親族内承継が主流だったこれまでとは異なり、会社をバトンタッチできる人材がないとお困りの企業が増



事業承継推進機構(株)
取締役

佐藤 文昭 氏

さとう・ふみあき 1966年生まれ。福島県出身。サイバーコム(株)入社。CFO(最高財務責任者)の立場で、宮城県内初のIT企業として上場を果たす。ヒューレックス(株)取締役営業開発部長。事業承継推進機構(株)取締役を兼任。

承継のお手伝いをさせていただきました。動物病院は飽和状態のことですが、業界全体の課題は何だとお考えですか。

獣医業界も後継者不足が深刻

大鋸谷 コロナ禍でペットの新規飼育世帯数が一時的に増加し、ペットブームと言われましたが、現在は減少傾向にあります。ただしペットの家族化が進み、一頭あたりにかける医療費は増えており、今後は獣医療の高度化や専門性に特化した治療体制が求められると思います。

また、全国的に承継問題はありますが、特に地方は後継者不足が深刻です。そんな中、獣医業界では外資系企業グループによる買収の増加

が問題視されています。売上至上主義に偏りがちで、地域医療として患者さんに寄り添った治療ができないといった弊害が見られます。ですから特に地方では、個人的な事業承継またはM&Aの方が、地域に根差すという点でも良いのではないかと思います。

佐藤 中小企業の課題と同じですね。外資系の参入がかなり激しくなっていますが、日本の力をなんとか盛り上げてほしいと思います。ペットの役割は「家族の一

The 地方創生



メル犬猫クリニック 院長 大鋸谷 光 氏

おがや・ひかる 1990年9月生まれ。仙台市出身。岩手大学農学部獣医学科卒業、日本獣医皮膚科学会認定医。仙台市内で獣医師として勤務を経て、2023年榊シャローツの株式を承継、代表取締役就任。同年12月メル犬猫クリニック開院。

が、業界にとつても良いことだと思います。また、私のように自己資金が豊富ではない個人の都合、数多くの難関があつて、必要

な手続きもかなり煩雑でした。融資を受けるのも大変難しかったですね。地銀では話を聞いてもらえず、今回は地元信用金庫さんにお手伝いをいただきました。大きな借金を抱えることに不安もありましたが、AOBAさんが必要な手続きや融資を受けるための資料作成のほか、適切な株式の金額の提示や承継後の経営予測などもバックアップしてくれました。買手の方は、プロの方の手を借りることが重要だと思います。そのおかげで、私は自分の医療技術の発展に専念することができました。今後は東京などの

一極集中ではなく地方を盛り上げていくため、閉業ではなく事業承継によつて病院が続けられるよう、AOBAさんに手伝っていただけるといいなと思っています。
佐藤 ありがとうございます。私たちがグループ全体で、単純に相手を探す、あるいはM&Aを成し遂げるだけでなく、金融機関との連携のメリットをしっかりとご案内させていただいたり、M&Aの後も経営をサポートする活動も行っていきたいと思っています。そういった点を評価していただいてうれしく思っています。

地方創生から新しい日本の未来をつくる

第29回 メル犬猫クリニック院長 大鋸谷 光氏

員」という意味でも大きいですよね。例えば小さいお子さんには思いやりの心の教育であつたり、高齢者の認知症の進行を遅らせる効果もあると聞きます。廃業を選択する先生は少なくないようですが、売上至上主義ではない、地域密着型の病院はこれから大事になると思います。

事業承継を支援し、企業の存続を実現

佐藤 今後の展望を教えてください。

大鋸谷 現在はペットロスのケアに関しても動物病院が関わるようになっていきます。日々、時間に追われ難しい現状ではあるのですが、地域医療としては、その分野もやっ

佐藤 開業や独立を目指している方へ、また今後、事業承継を考えておられる方へ、メッセージをお願いします。

大鋸谷 昨今はペットロスのケアに関しても動物病院が関わるようになっていきます。日々、時間に追われ難しい現状ではあるのですが、地域医療としては、その分野もやっ

大鋸谷 院長先生に「もしも」のことがあつたら、患者さんやそのご家族だけでなく、取引業者の方にも迷惑をかける可能性もあります。その前に後継者問題を解決することが望まれ、AOBAさんのような適切な仲介業者に依頼して早めに対応していくこと

が、業界にとつても良いことだと思います。また、私のように自己資金が豊富ではない個人の都合、数多くの難関があつて、必要な手続きや融資を受けるための資料作成のほか、適切な株式の金額の提示や承継後の経営予測などもバックアップしてくれました。買手の方は、プロの方の手を借りることが重要だと思います。そのおかげで、私は自分の医療技術の発展に専念することができました。今後は東京などの

